

会報 いしがき

第170号

令和5年7月1日発行
(2023年)

公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見4-3-1

相模原市シルバー人材センター



令和5年6月1日現在
会員数 3,003名

第12回定時総会開催される



議長にご挨拶をいただきました。

続いて、正会員表彰と会員拡大地区表彰が行われました。

休憩をはさみ審議が開始され、総会成立の報告の後、津久井地区の赤川繁子理事が議長に選出され、直ちに議事に入り、令和4年度収支補正予算（第1号および第2号）と、令和4年度の事業報告が佐藤事務局長によって報告されました。事業報告では、センターの活動内容や実績について報告されました。議決事項では、第1号議案「理事1名選任」、第2号議案「令和4年度決算報告・監査報告」が上程され、可決されました。その後、「令和5年度事業計画」と「令和5年度収支予算」について報告がありました。

おわりに、関野劭理事の閉会のことばで令和5年度の第12回定時総会を閉会いたしました。



(本村市長ご挨拶)

第12回定時総会が、6月12日（月）に相模原市民会館ホールにて開催されました。

跡部逸郎理事の司会で、小川充信理事によって開会が宣言され、山中森勝理事長の挨拶から始まりました。山中理事長からは、センターの活動状況と退任にあたりこれまでの協力に対し、謝意を述べられました。

次に、ご来賓の本村賢太郎市長及び古内明市議会

清水 薫 新理事長 就任あいさつ



理事会にて理事長に選任され、6月13日に就任しました南ブロック会員代表理事の清水薫でございます。

私は、地区長を4年間務めた後、南ブロック会員代表理事に選出され2年間務めた後、副理事長を拝命しております。副理事長の3年間は、主に

会員の利便性向上とセンター業務の運用に注力し、配分金明細書の電子化の提案（Smile to Smile）、情報通信技術の活用検討（ICT活用検討委員会の設置）等に取り組みました。

さて、当センターでございますが、ここにきて新型コロナウイルス感染症と共存しつつ社会活動が活気を取り戻し、当センターにとっても明るいきざし

が見えて来たと思われます。

センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の基、会員、役員、事務局が一体となり当センターが抱える課題（会員拡大、就業機会の確保、安全・適正就業の確保等）等に対応し、事業の継続に取り組みたいと考えております。

一方で、生活、仕事、趣味等あらゆる場面に、情報通信技術（ICT）が浸透しております。このようなデジタル社会に私たちも向き合う必要があると考えております。社会活動が変わっていく中、私たち高齢者が活躍する生涯現役社会の実現に向け、当センターも変革していく必要があります。微力ではございますが、皆様の期待に応えるべく尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

植松 省三 新副理事長 就任あいさつ



この度、副理事長を拝命した緑ブロック会員代表理事の植松省三です。シルバー人材センターに入会してちょうど10年が経ち、6月の総会では10年正会員表彰をいただきました。ありがとうございます。

私の入会の動機はセンターが野菜販売をしていることを知り、野菜販売チームに入って、出身地(旧藤野町佐野川)の柚子をこの地域に紹介しようというのがそれでした。それからあつという間に10年が経って、その間、色んな仕事を体験し、遊びをした結果、沢山の仲間ができたことが今の私の宝物(いきがい)になっています。

さて、これからの相模原市シルバー人材センターのことですが、社会情勢とうまく付き合いながらや

っていかなければなりません。負の要素は色々ありますが、センターには何より誇れる3,000名の会員がいます。これは素晴らしい資源であります。この3,000名が持つ知識、知恵それと技能が発揮できれば会員の生きがいは広がり、繋がって、会員のシルバー人生の明日はもっともっと楽しくなります。

また、地区の役員を経験したことも仲間づくりに役立ちました。安全管理対策員から始まって、福利厚生委員や地区長をやらせていただきました。地区長在職時には「走らない運動会」や「シルバーまつり」を緑ブロック管内で実施して会員の交流と親睦を深めることができたと思います。これからも、このような会員が楽しめるセンターの運営を心がけたいと思います。

山中 森勝 理事長 退任あいさつ



平成19年に地区の先輩から「お前！地区長をやれ」と命令されて以来、この度理事長を退任するまで、実に長い間センター役員として努めてまいりました。

その間、神奈川県シルバー人材センター連合会理事長、さらに全国シルバー人材センター事業協会役員を担うに当たってはセンター職員はじめ多くの方のご支援をいただき、無事に任務を果たすことができました。この場を借りまして感謝申し上げます。

地区長のころ、地区会員の就業調査に会員の家を

一軒一軒回ったことがあり、いろいろ話を伺い、勉強させていただきましたことはいい思い出です。

今後センターはますます高齢化、デジタル化が進み、事業の在り方も変わっていくことと思います。このような時代の変化に対応していくためには、会員、役員、職員が一丸となって清水理事長を支えていくことが肝要です。

私の今後は、一会員としてセンターの発展を祈り、見守ってまいりたいと思っています。

会員の皆様におかれましては、ますますご活躍されることをご祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

新理事 紹介

中央ブロック会員代表理事

木村 和夫



木村和夫理事はシルバー人材センターに入会されて、8年目になります。中央南地区長を3年務め、この度、初めて理事に選任されました。部会は組織部会に所属されています。

「シルバー人材センターが少しでも活性化できるよ

うに協力していきたい。微力ながらも力を貸したい」との意気込みを語ってくださいました。

センターのお仕事は、横山公園の剪定や清掃、葬祭場や企業の清掃をやっておられるとのこと。

趣味は旅行、ゴルフやバーベキューだそうで海外旅行が特に好きだそうです。今までニュージーランドやタイに行かれたそうです。(小林)

令和5年度 表彰受賞者（敬称略）

正会員 17年表彰 46名

清新

村田 清

中央南

市田 富雄

高原 茂

星が丘

山崎 平三

青葉

広谷 和雄

新井 芳夫

上矢部

角田 美代子

岡本 富二雄

光が丘

甲田 昭六

大沼

二木 勝男

大野中

酒巻 伸一

上鶴間本町

渡部 征男

田中 弘子

相模大野

安岡 徳

大江 剛司

相模台

鈴木 勝美

新島 茂雄

佐藤 タケ

長澤 隆大

麻溝台

金沢 重臣

相武台

西田 カツ子

八木 正康

松永 新一

山本 恵子

合田 正彦

東林

小田桐 一夫

今井 満子

若松

谷 實

坂本 武照

新磯

三橋 義昭

相南

杉野 ひろ子

高階 雄次

宮寺 美次

橋本

角田 光子

柚木 綾子

西橋本

西村 守

田地 裕

相原

眞鍋 一徳

大沢東

安波 壽三男

大沢西

荻原 利夫

山本 諫一

城山

神藤 文明

津久井

錦織 マサ子

相模湖

大谷 均

安江 純於

榎本 英治

正会員 10年表彰 156名

清新

北川 房代

白井 哲夫

小山 良子

横山

吉成 春子

芝崎 十九三

星野 満枝

宮崎 良男

佐野 誠

塩谷 雅之

中央北

畠田 勝二

八木 富美子

八木 茂

今田 繁

大槻 克男

中央南

木村 昌子

星が丘

根本 和一

金子 勤

小澤 キヨ

光が丘

村井 義徳

青葉

伊勢 力

矢向 章男

小野 貞雄

新沢 稔

佐藤 文雄

陽光台

本村 純二

小川 紀江

齋藤 文美子

兵庫 康博

大野北

鈴木 春夫

上矢部

石川 武郎

大川 博

草刈 千尋

野尻 タカ子

淵野辺

原田 俊治

中鉢 力

高橋 徳男

田名

佐藤 昭

重田 政治

矢坂 ツヤ子

小菅 孝一

上溝北

小西 信夫

松本 博行

上溝南

浮田 和子

鈴木 章人

横尾 末則

木村 直之

富所 政晴

岩永 加津子

大野中

市来 邦彦

松本 トサ子

江成 信雄

荒沼 修造

玉手 美津子

田中 敏博

大沼

牧野 アヤ子

荒牧 勝吉

若松

荒川 隆司

小澤 彰

鈴木 寛

小川 清

大野南

澤田 秀一

前田 善三

清水 薫

上鶴間本町

渋谷 明男

堤 正企

楠田 宙生

佐藤 清昭

渋谷 晃

相模大野

吉田 敏男

杉田 祐一

丸山 満

高原 定

福田 典子

山畑 哲範

渡辺 洋美

麻溝

山口 豊

坐間 泰夫

橋本 國男

錦織 芳之

穴戸 勝雄

松本 進

新磯

真木 ミエ子

鈴木 武男

野木 隆

相模台

米倉 敏明

松田 ミヤコ

齊藤 秀夫

麻溝台

澤口 正樹

三沢 昌勇

黒田 直忠

山口 克己

岡野 昌彦

相武台

輿水 文吾

森 博史

飯山 百合子

今村 好廣

荻原 正人

山口 弘子

草場 博子

東林

山岸 裕和

井上 達路

佐藤 朋子

岩本 光男

郷原 秀夫

福田 郁三

相南

加島 カツ

荒牧 早苗

橋本

清水 朗

川村 初枝

藁谷 勝昭

澤 啓子

大和 辰雄

西橋本

梶原 善志郎

木村 耕蔵

植松 省三

勝野 次雄

柚木 茂

宮本 司

相原

平野 靖和

平本 民雄

二本松

杉内 敏夫

吉成 秀稔

青砥 好明

大沢東

木庭 忍

橋本 英行

佐々木 範子

藤原 初治

宮下 明

松本 徳安

野々垣 和彦

大沢西

笹野 博文

島田 俊二

及川 好弘

村上 重光

吉田 武英

城山

佐藤 政治

昌谷 信

三上 薫

正面 佳毅

佐藤 進

門馬 正夫

長谷川 美枝子

小倉 春男

津久井

小野沢 弘司

丸田 春子

佐藤 美代治

北村 久和

小早志 すい

小室 章夫

山本 克己

佐藤 靖夫

畑野 尚一

斉藤 昭一

相模湖

溝口 愛子

田頭 章

藤野

永島 堅太郎

会員拡大 地区表彰

中央ブロック

: 田名地区

南ブロック

: 相武台地区

緑ブロック

: 大沢西地区

いきがいの仲間たち

相模原ギオンスタジアム周辺の草刈作業に就業 【南ブロック】

相模原ギオンスタジアムはJR相模線原当麻駅東口より徒歩20分、小田急線相模大野駅北口からは神奈中バス大60系統「女子美術大学」行きに乗車し、「女子美術大学」で下車、徒歩6分、女子美術大学、県立相模原公園に隣接し、市立相模原麻溝公園の敷地内にあり、1年を通じて大会・イベント等が開催されます。また、ギオンフィールド第2競技場、スポーツ広場、ジョギングコースなど健康のための体力づくりから、本格的なトレーニングまで幅広く活用できることから、多くの市民が利用しています。その競技場周辺の草刈り作業をする織田仁さん、草柳忠士さん、森田茂さん取材しました。

就業は週3日から4日（月・水・金曜日）、午前9時から午後4時までの実働6時間、6人で3人1組体制の2組で競技場周辺の除草・草刈作業を行っています。「ジョギング等をしている人がいるので、周囲に気を配り、注意しながら安全第一に考え草刈作業を進めています。刈りとった雑草はビニール袋に詰めて、軽トラックで捨て場に運んでいます」と言っていました。

月間延べ256時間、雨等で作業が出来ない時は人出が多い土・日曜日、祝祭日を避けて作業日を設

定するとのことです。

余暇の過ごし方を伺ったところ、草柳さんは造園関係の仕事をしていたので、ボランティア活動（NPO）として、里山作りをしているそうです。森田さんはゴルフです。行きつけのスナックのオーナーが主催するゴルフコンペに参加しているそうです。織田さんは旅行です。千円未満で安くておいしいランチ・海鮮料理等を探すことにはまっています。また、宮城県の方に出向き畑作をすることだそうです。ご協力、ありがとうございました。（松本）



左から森田さん、草柳さん、織田さん

相模湖駅前広場ロータリーの清掃業務に就業 【緑ブロック】

相模湖駅前広場ロータリーで清掃作業をする荒井富子さんと前田保法さん取材しました。清掃作業は毎日午前中に行います。休みは12月31日、1月1日、3月31日の3日間のみです。荒井さんは水、木、金、土の4日間。前田さんは日、月、火の3日間を担当しています。時間は荒井さんが午前10時から午前11時、前田さんが午前8時から午前9時までのそれぞれ1時間です。

清掃範囲は駅からバス停エリア、みやげ物販売店前までの屋根設置のエリアです。掃除は掃き掃除が主で、草が生えていれば草取りをします。草はコンクリートブロックの際に生えているので取るのに大変苦労していると言われていました。

「この時期は、屋根にたくさんのツバメの巣があり、頭上を頻繁に行き交っています。そのため、糞の処理が大変で、水をまいて清潔に拭き取る必要があります。それほど頻繁ではありませんが、時折、嘔吐物などの汚れがあると、処理が本当に困難です」と話されていました。

清掃をしていると市民の方から「ご苦労さん、あ

りありがとう」というお礼の言葉を載っています。非常に有難くて、仕事に張り合いができるとのことでした。駅は街の顔なので一生懸命きれいにして、利用される方からの印象を良くして、気分良く使って貰おうと、日々頑張っているとのことでした。

趣味を聞いてみると、荒井さんは草花の鉢植えを作って楽しんでいます。前田さんは相模会、2ヶ月会、黄緑会という3つのグループに入っていて月に1回ずつ、また個人で2回ぐらいゴルフを楽しんでいるとのことでした。（山口）



左から前田さん、荒井さん

桜美林大学で学生と先生とをつなぐ業務で就業

【中央ブロック】

桜美林大学のプラネット淵野辺キャンパス（PFC）で学生と先生を取り次ぐお仕事に就く、杉本公弘さん、丹羽正典さん、伏見立男さん、坂本清次さんの4人の方にお話を伺いました。このキャンパスは今年4月に新しく開設された教育探求科学群のメインキャンパスで現在、1年生のみ120人が在籍されているそうです。

お仕事は午前9時から午後1時までと、午後1時から午後5時までの週5日シフトを組んで、一人平均週2から3回の就業をされています。

仕事の内容は、主に先生と学生の間の連絡役を務めることです。具体的には、学生が先生と会いたいときにアポイントメントを調整します。

朝は学生や先生方の湯茶の準備と補充やコピー機の用紙補充、先生方のパソコンの貸し出しチェックや先生方の質問に答えることで、学生からパソコンについての相談を受けることもあるそうです。

配慮していることは、学生さんたちが居心地の良い雰囲気を作り丁寧な対応をすることだそうです。

仕事のやりがいは、熱心な先生方や、若い学生達との会話で元気をもらえること、知識を増やせることは新鮮味があってよいとのこと。

就業以外での皆さんの家での過ごし方や趣味をお聞きしたところ、伏見さんは畑で野菜を作っています。丹羽さんはコロナ禍の時に小田原から鎌倉までのハイキングの他に、野球や健康マージャンもされています。坂本さんは料理が好きで午前4時から5時の間に起きて朝ご飯を作るだけでなく、夕飯も作られているそうです。杉本さんはパソコンでプログラムを組むこと以外に、コーラスもされていて、12月に合同の演奏会に参加されるそうです。

お忙しいところ、取材にご協力いただきありがとうございました。（小林）



左から伏見さん、丹羽さん、坂本さん、杉本さん

安全管理委員会からのお知らせ

安全管理委員会として、4月より令和5年度の活動を順調にスタートすることが出来ました。安全管理対策員も4月より新体制となり、今年度も安全管理委員、安全管理対策員一丸となって、会員の皆様と共に、事故撲滅に向けて一生懸命取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

【就業会員の事故発生状況】

令和4年度の事故発生状況がまとまりましたのでご報告致します。

傷害、賠償事故の合計は28件となり、近年最多だった令和3年度の34件に対し6件も削減することが出来、非常に良い結果で終わることができました。会員の皆様の事故削減に向けた協力があってこそその成果と言えます。

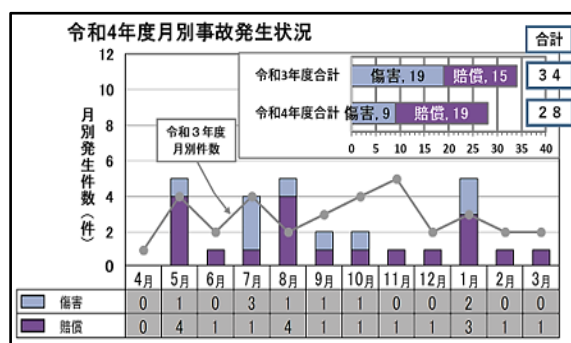
また、令和5年度5月末の事故発生状況ですが、車両運転時の自損事故、植木作業時の樹木倒壊、草刈作業時の石跳ね事故の合計4件が発生しております。件数では今のところ例年と同等のペースですが、今後も事故を少しでも減らせるよう会員皆様方のご協力をお願い致します。

昨年度同様、就業前の作業個所、段取りの確認、チェックリストの活用、そして危険な箇所、状況がないかなどの危険予知活動を実践してから始めましょう。

【令和4年度安全標語応募結果について】

神奈川県シルバー人材センター連合会による令和4年度「安全就業標語」「ヒヤリハット体験事例」の募集について、当センターとしても会員の皆様から数多く応募頂きましたが、残念ながら受賞はありませんでした。応募いただきました皆様には感謝申し上げます。

皆様から応募頂いた「安全就業標語」「ヒヤリハット体験事例」につきましては、安全管理委員会において、今後の安全諸活動に活用させていただき、事故削減を図っていきたくと考えております。



南ブロック女性会員懇親会が開催されました

「南ブロック女性会員懇親会—介護保険について学ぼう—」は5月22日（月）午前10時から正午まで、シルバー人材センター南事務所2階会議室において、ケアマネジャーの経験をお持ちで、シルバー会員の田中早苗講師をお迎えして開催されました。

参加者はセンター女性会員または友人の方（60歳以上の女性限定）、定員20名（申込順）として募集した結果、20名の申込みがありました。当日体調不良等の為に止むを得ず欠席された方もいましたが、19名（女性理事・講師を含む）の方が参加されました。

『利用のてびき「すこやか介護保険」』（相模原市）、『シニアのための「大野南便利帳」』（大野南地域包括支援センター）、『かみつるま便利帳』（上鶴間地域包括支援センター）等を基に介護保険の仕組みやサービス利用までの流れの中で、介護保険の基本から、施設の選び方や認定ごとのサービスの違い等を分かりやすく説明されました。

参加者からは、次のような質問等が挙げられま

した。

○施設に入所せず、在宅の場合はどのくらい費用が掛かるのか？

○認定のチェック項目はどのくらいあるのか？

○施設は自分の希望に沿ったところを案内してもらえるのか？

○一家庭で二人の場合は住宅改修が利用できるのか？など

講師が「介護は一人で抱え込み悩まないで相談して家族と皆で支え合うことが大切ですね」と言われたことに感銘を受けたようです。隣席同志で談話するなど、加齢と共に介護保険制度や支援および予防等を考える機会となったと思います。

（松本）



第50回相模原市民若葉まつりに参加



5月13日（土）、14日（日）の2日間、市役所さくら通り等で第50回相模原市民若葉まつりが開催されました。

雨が降ったりやんだりの天気の中、初日の午後1時から歩行者天国になった道路に並んだ沢山の露店には、まつりの開始と共に、人出が増え、天気を感じさせない楽しそうな雰囲気でした。

シルバー人材センターのブースでは就業相談窓口とセンター紹介のパネル展示の他に、エコたわしの配布と手芸品や、薪、ほだ木の販売が行われ

ました。

ブースは向かって左手に入会相談コーナー、中央に手芸関係、右に広葉樹と針葉樹の薪と椎茸のほだ木の販売コーナーを設けていました。

エコたわしの配布から足を止める方も多く、それに伴いブースの中も活気にあふれていました。会員手芸品はエコたわしや刺繍の傘の柄のカバー、花瓶敷きなどを中心に、年齢を問わず人気でした。また、ほだ木や薪の間合せも多いとのことで、これからのキャンプシーズンに向かい販売促進がますます期待されます。

（山口）



成田山新勝寺日帰り旅行記（中央ブロック）



成田山新勝寺

令和5年3月14日（火）に、中央ブロック会員42名による『成田山新勝寺』の交歓会日帰り旅行を行いました。

コロナの影響で長い間旅行ができなかったため、久しぶりの旅行となりました。

当日は、晴れ時々曇りのまずまずの好天に恵まれ、朝7時に相模原市から、東名高速道路の横浜町田インターチェンジを経由して、首都高速道路を通り東京スカイツリーを横目にしながら、特に渋滞もなく成田に向かいました。途中で港北PAでトイレ休憩を取りました。その後、最初の目的地である成

田山新勝寺に到着し、成田の「川豊」でうな重の昼食を楽しみました。昼食後、新勝寺を参拝し、買い物をして次の目的地である航空科学博物館を見学しました。

航空科学博物館では、実際に使われた飛行機やヘリコプターの展示に加えて、実物の1/8サイズのボーイング747を機長と副機長に扮して実際に動かす操縦体験があり、その大きさも含めて迫力満点でした。

その後、帰路に着き幕張PAから首都高速道路と中央道を通り、夕方には全員無事に相模原に帰ってきました。

久しぶりのバス旅行を満喫できました。次回の旅行も楽しみにしています。この旅行の企画にあたりご協力いただいたことに心より感謝いたします。

担当幹事 田名地区長 小泉 智保
淵野辺地区長 吉村 利康



Smile to Smile サービス利用のお願い

「Smile to Smile」は、シルバー人材センターの会員向けに提供されている無料のサービスです。センターでは、このサービスの利用を推奨していますが、現状の利用者は約300名程度となっています。配分金明細書の内容が、ご自身のスマートフォン等で確認することができます。

第12回定時総会の開催通知と一緒に、Smile to Smile のログインIDと仮パスワードが書かれた通知書をお送りしていますので、ぜひご登録をお願い致します。（通知書を紛失された方は事務所等へご連絡下さい。）

1 サービス登録の流れ

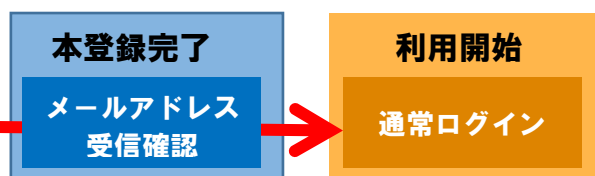
- (1) 通知書のQRコードをスキャンしてください。サインインの画面が表示されます。
- (2) 「ログインID」と「仮パスワード」を入力してください。
- (3) Smile to Smile のWEBサイトにログインされます。
- (4) WEBサイトにログインされましたら、ご自身の新しいパスワードに変更してください。
- (5) これでご利用になれます。

※会員向けに、Smile to Smile の使い方も学べる、無料スマホ教室が実施されますので、ご活用ください。

【ログイン前】



【ログイン後】



めぐり会いの広場



お仕事情報



センターのホームページに、最新お仕事情報!!を掲載しております。

ご覧いただく方法は1ページの表紙にあるQRコードをスマホで読み取りホームページにアクセスしてください。下にスクロールして「お仕事情報」をクリックしてください。続けて、PDF ファイルをクリックしてください。スマホから簡単にご覧になれます。

ご希望の仕事がございましたら、下記掲載の各事務所連絡先にご連絡ください。お待ちしております。



シルバーまつり 開催の予定



令和4年度に実施し、非常に大盛況であった『シルバーまつり』が下記のとおり開催されます。

- ・月日 10月15日(日)
- ・時間 午前10時から午後2時まで
- ・場所 相模原淵野辺公園芝生広場

『シルバーまつり』で開催される『フリーマーケットへの出店』について、この会報いきがい170号にチラシが同封されていますので、皆様ぜひともご参加ください。

各事務所連絡先

[事務局・中央事務所]	042(754)1177
[南事務所]	042(745)2158
[緑事務所]	042(783)1313
[津久井連絡所]	042(780)1872
[相模湖連絡所]	042(684)3126
[藤野連絡所]	042(686)6505

読者投稿作品

今日何度 つぶやいたかな

「ありがとう」

「いまさら」は 禁句だと子供
叱られる

田名 富山 義喜

歩く会 キャンプ横目

通り過ぎ

目も耳も 感度が鈍く

なまはかり

二本松 見城 マサ子

めぐり会いの広場では、皆様の読者投稿作品を募集しております。
「応募」については、事務局までお問い合わせください。

編集後記

会報「いきがい」の役割について、あらためて考えてみたいと思います。次の3つの役割を果たしていると思います。

① 情報提供：会員が参加したい活動や行事を見つけたら、役立つ情報を提供したりする。
② コミュニケーションの促進：会員同士が会報を通じて情報を共有し、交流を深める。

③ 組織のアピール：センターの活動や取り組みを紹介し、センターの広報に役立つ。さらに、会報「いきがい」は、皆様が地域社会に貢献するために必要な情報ツールとしても重要です。

私どもにとって、今は生きづらい時代です。しかし、人の生き方に共感を得たり、不安を軽減するような仲間や言葉に出会ったりすることも必要です。そのためには、行事や就業情報だけではなく、皆さんの生き方や働き方などの生の声を載せることが大切だと考えます。そんな情報紙となるよう目指したいと考えます。

取材にご協力いただくにあたり、会員の皆様のプライバシーや就業先情報を守ることに心がけてまいります。引き続き、取材へのご協力をお願い申し上げます。

編集委員 山川